

WAJICO

コミセンであなたと、「つながる」

03

2013 AUTUMN

コミセンわじろ 情報誌「ワジコ」 季刊誌

index

- わじろ元気印/ 団体紹介 ————— P02
- TOPICS ————— P04
- わじろ自慢 ————— P03
- HOW TO ————— P04
- 教えて！相談員マン ————— P03

第三回 福岡ろう劇団 博多

第二回「綿津見神社」

コミセンわじろ 10周年記念式典レポート

かしこく上手に使っちゃおう！コミセン活用術 チャイルドルーム編



表紙写真：福岡ろう劇団 博多 手話劇「ブラザー」リハーサルでの一幕

TOPICS

コミセンわじろ 10周年記念式典レポート

ご来場＆応援いただいたみなさま、ありがとうございました！

ふたりの一日館長が大活躍！



8月9日に行われた10周年記念式典の当日、コミセンと同じ10歳の小学生2名に一日館長をお願いしました！同日に誕生日を迎えた濱崎杏太（はまさきいっ）と8月11日生まれの三嶋智佳（みしまともか）ちゃんです。最初は緊張している様子もありましたが、式典本番では堂々とあいさつをして、立派に館長の仕事を務めてくれました。2人とも、お疲れさまでした！

圧巻でした！10周年記念絵画展示会



8月1日から9月1日まで展示をしていた絵画展「10年後のふくおか」。220点も集まった子どもたちの力作、全てを展示しました。印象的だったのは、環境に配慮した優しい未来の姿を描く作品が多かったこと。本当にまちのことを考えてくれたんだなぁと嬉しい気持ちになりました。作品をご応募いただいたみなさま、本当にありがとうございました。

HOW TO

かしこく上手に使っちゃおう！コミセン活用術

地域の皆様の「こんな風に使いたいなぁ」というニーズに真剣にお答えします。

チャイルドルーム編

パパ・ママ・お子様、大必見!?チャイルドルームでの楽しいイベントが人気です！

コミセンわじろ2Fのチャイルドルームが、最近盛り上がりを見せています。「ばぁばと遊ぼう！の会」という地域の団体が、月に1回のペースで「読み聞かせ会」を実施。親子で楽しめるイベントを行っています。歌や紙芝居、ベビーダンスなどなど毎回楽しい企画ばかりです。近い世代の子どもたちを持つ利用者さんが集まるので、いわゆる「ママ友」が出来るきっかけにもなっているそうですよ！コミセンには授乳室がありオムツ交換もできるので、小さいお子さんのママも安心です。またルームの横には、「こどもイベントコーナー」という、一目でイベントがわかるプチ掲示板が設置されました。こちらもぜひチェックしてみてください！



ここがポイント

1. 誰でも参加できる！
2. 「ママ友」ができる！



〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘1丁目22-27

☎092-608-8480 FAX：092-608-8485

【開館時間】午前9時から午後9時まで（多目的ホールは午後10時まで）

【休館日】毎月最終月曜（祝日のときは翌日）、及び年末年始（12/28～1/3）

詳しい情報は、コミセンわじろ公式ホームページをご覧ください。

公式HP <http://wajiro.info>

コミセンわじろの日常を発信中！

facebook www.facebook.com/komisenwajiro



「綿津見神社」のココが自慢だ！

- ◎澄んだ空気の中で見る、海岸沿いの美しい景色！
- ◎市指定有形文化財として登録されている5体の仏像！
- ◎神仏分離が行われる前の額束（がくづか）が現存している！



① 綿津見神社から見える美しい海

社を建て祭ることを誓い祈ると、嵐が収まり、無事に凱旋できたことから、苦が漂着したこの地に社を建てて、「三苦」と名付けたと記されています。

かつてこの神社の名前は、雨と水の神様を祀った「八大竜王社（はちだいりゅうおうしゃ）」でしたが、明治初年の神仏分離の際に「綿津見神社」と改められます。しかし現在も八大竜王社の頃の鳥居の額束（がくづか）や、神仏分離が行われる以前の石灯籠など、昔の佇まいを残しています。また延暦24年（805年）最澄の作といわれる虚空蔵菩薩木像など市指定有形文化財の仏像群も安置されるなど、歴史ファンにとっても魅力ある場所です。さらに景観も魅力のひとつ。境内から左に進むと、美しい水平線が。目の前いっぱい広がる、青い海と空をぜひ楽しんでください。



② 綿津見神社外観



三苦6丁目、海を臨む静かなエリアにある綿津見（わたつみ）神社。ここが古賀代表オスメの自慢スポットです。綿津見とは海の精霊を意味します。境内の由緒書きには、神功皇后が御西征の時、対馬沖で暴風雨に遭ったため、船の雨露をしのぐ苦（とま）を3枚海に流し、流れ着いた場所に

いいところわじろ 自慢

人に言いたくなる「和自の魅力」を追います！

第二回

美しい景色と歴史が残る「綿津見神社」

和自5校区の地域に関する意外な歴史や、素敵な自然の風景などを追いかけて紹介するこのコーナー。第二回は、福岡の歴史に詳しい東区歴史ガイドボランティア連絡会、愛称「歩・歩・歩（さんぽ）会」の古賀偉郎代表に、秋に訪れたいスポットを聞いてみました。



オスメ！



▲ 本番さながらの練習風景



▲ 以前の作品「ねずみ派遣会社」公演風景

活動について教えてください。

「私たちは手話劇を行う劇団です。劇中では耳の不自由な5名が役者として舞台に立ち、耳が聞こえる5名は照明や音響、声役（吹き替え）をやっています。普段の会話は全て手話でのコミュニケーションです。手話劇では、単に手話をするのではなく、遠くから見えるように大きな表現にしたりと、『見える』工夫を凝らしています。」

活動を始めたきっかけは？

「福岡市聴力障害者福祉協会の文化事業を発端として平成4年に活動を始めました。当時のテレビには字幕が無く、聞こえない人に文化や娯楽を与え、ろう文化の理解と発信をしよう

という事で、『福岡ろう劇団博多』として、手話の会と耳の不自由な方々とで集まり、現在の活動がスタートしました。福岡に一つだけの手話劇団として、もう20年以上活動を行っています。」

やっていて面白いところは？

「生まれつき耳が不自由な方は、耳が聞こえる人の手話よりも視覚的な表現が豊かです。私たちは日本語から手話に訳すという作業をしますが、日本語の脚本を手話表現に訳した時、その意味をお互い共有するのに大変な労力がかかります。時には『意味が違う』と対立することもあります。でも、表現が決まった時は何とも言えない面白さ、嬉しさがこみ上げてきます。」

今後の展開を教えてください。

「私たちは、言葉の壁をなくす事に対して努力しています。普段の生活で両者が混じり合う



わじろげんきじるし／団体紹介

このコーナーでは、和自5校区などの地域を拠点にして精力的に活動を続けている「元気な」団体さんをご紹介します。

「言葉の壁をなくしたい。観客の価値観を広げる、福岡唯一の手話劇団。」

第3回——福岡ろう劇団博多



▲ 代表の鈴木さん

事はあまり無いかも知れませんが、演劇を通して支え合い、共に生きている事を多くの人の観て感じて欲しいです。手話に魅力を感じている人は、自分には無いさまざまな手話表現を知る面白さもありますし、手話を知らない人も、声役がいるので楽しめます。そんな風にな、さまざまな環境にいる人の世界を、ともに広げられたらいいなと思います。」



▲ 第8回自主公演「ブラザー」チラシ



教えて！相談員マン

★地域相談員は、コミセンわじろ2Fにいます！受付日は、毎週火～土曜日 朝10:00～夕方6:00（※外出の場合もありますので、ご来館の前にお電話ください！）

相談その2

Q.「自分たちの団体の広報をしたいんです！」



「みんなで一緒に楽しめる、写真サークルを立ち上げたんですが、思いの外メンバーが集まりません！サークルのPRがしたいです！」by 写真大好きカメ男さん

「わかりました！例えば、具体的にどんな活動をするのか、見学会や体験会を開いてみてはいかがでしょう？チラシを掲示したり、デザインをお手伝いすることも出来ますので、ぜひ一度窓口までご相談ください！」



【関連イベント情報】

《演 目》 手話劇「ブラザー」
《日 時》 10月14日（月・祝）
①13時半開場、14時開演
②17時半開場、18時開演
《会 場》 コミセンわじろ
5F多目的ホール
《チケット》 大人1,000円（当日1,500円）
小中高生500円（当日1,000円）

※台詞は手話ですが、声役もつきますので、皆さんにお楽しみいただけます。ぜひご来場ください。

【今回の活動団体の情報】

福岡ろう劇団 博多

【FAX】092-963-4458 【稽古日】毎週土曜日 18:00～21:00（福岡市市民福祉プラザにて）
【mail】fukuokarougekidanhakata@gmail.com（お問合せ、申込みなどもこちらまで）

この活動に参加してみたい方へ

◎劇団員やボランティアスタッフ、随時募集中！

普段はバントマイムやリズム練習などの身体づくりを行っています。公演が決まれば、定期的に稽古をしています。劇団員だけでなく、ボランティアスタッフも募集していますので、まずは気軽にご連絡ください。